

# アジア太平洋薬学生 シンポジウムに参加

## 国際会議に日本からも参加!!

「薬学生の集い」は、学生のうちから社会に貢献していこう!薬学を考えよう!という意識を持った学生が集まって、地域に根ざした活動から国際活動まで幅広く活動している、日本で唯一の全国的薬学生組織です。2007年に「薬学生の集い」はIPSF(世界薬学生連盟)に正加盟し、そのアジア支部であるAPRO(アジア太平洋薬学生連盟)の

## 世界でもっとも熱い5日間

開催地のマレーシアはもちろん、シンガポール、インドネシア、タイ、韓国、台湾、オーストラリアなど、アジア各国の薬学生が180人以上参加しました。日本からは2人で一番少ない人数だったのが残念です。

26日、ペナン空港に降り立つとすぐにMy-PSA(マレーシア薬学生連合)のメンバーが出迎えてくれました。ホテルに着くと、ロビーにはAPPSスタッフが用意した、インド、中国、マレーシアの文化を紹介する展示ブースがありました。

マレーシアは、インド系、中国系、マレー系の人と文化が混在する国です。言葉も、マレー語、中国語、英語が飛び交います。それぞれの展示ブースでは食文化や伝統衣装、お祭りなどが紹介されていました。夜にはウェルカムパーティーが行われました。パーティーは、食事をしたり、民族舞踊が披露されたり、おのおの自分の国から持参したプレゼントを交換したりと、大いに盛り上がり、参加者たちはすぐに打ち解けました。

一夜あけて1日目は、シンポジウムやワークショップ、ビデオ&ポスターコンテストが行われました。基調講演をホテルで拝聴した後、USMに移動しワークショップが行われました。いくつかのワークショップのうち、私が参加したのはIPSFの公式プロジェクトでもある「Patient Counseling Event(PCE)」です。患者さんにカウンセリングをする重要性や、どうしたら患者さんとのコミュニケーションがうまくいくか、カウンセリングにおいてどのようなことに気をつけるべきかなどをディスカッションしたり、発表したりしました。

ここで驚いたのは、参加者のプレゼンテーションのうまさです。発表者はとても楽しそうに、堂々と発表します。途中ジョークなどもうまくはさみ、参加者を惹きつけます。日本ではなかなか見られない光景でしたが、APPSではごく普通に、素晴らしいプレゼンテーションをしていました。

ビデオ&ポスターコンテストでは、各国の薬剤師のあり方や薬局などが紹介されました。参加者が独自に作ったビデオは、とてもユニークで、参加者自身が迫真の演技をしているものなどもあり、とても面白かったです。

また、韓国でももうすぐ薬学部6年制がスタートすることや、マレーシアでは薬学部と

シンポジウムAPPSが6月26日から7月1日までマレーシアのペナン島にあるUNIVERSITI SAINS MALAYSIA(USM)で開催されました。

日本からも2人の薬学生が参加しました。

今回はその貴重な体験を皆さんにお伝えします。

医学部が大学に入学した後から選べることなど、情報交換もすることができました。

この日は夜0時ごろまで、次の日のキャンペーンのためのプラカードづくりをしました。

## キャンペーン活動・会議を通じた国際交流

シンポジウム2日目は、禁煙や、心臓病予防、よい運動や食事を訴えるキャンペーンを行いました。それぞれ自作のプラカードを持ち、一般のご家庭を訪問し(突撃!アポなし!)アンケートに答えていただいたりしました。日本では、キャンペーンで個人宅にうかがうことはあまりありませんから、とても驚きました。

夜にはGlobal Village Nightというパーティーがありました。参加者は自国の民族衣装を着ての参加です。私は浴衣を着ました。様々な民族衣装はどれもすばらしく、参加者はお互いに写真を撮るのに夢中でした。インドのサリーや韓国のチマチョゴリは有名ですが、タイのトロピカルな衣装、インドネシアの金色の衣装など初めて見る衣装も多く、と



パーティーでは浴衣を着ました♪



キャンペーン活動の様子

でも興奮しました。パーティーは各国ダンスや歌の出し物ですます盛り上がり、最高に楽しい夜でした。

3日目はAPROの会議でした。会議では来期のAPROの幹部の選挙や、再来年のAPPSの開催地の選定が行われました。この選挙で、私は感動的な場面に出会いました。立候補者について、その人を応援する声や、疑問視する声などが、自由に飛び交いました。それはとても積極的な発言で、みな真剣でした。自由に真剣に自分の意見を言い、また真剣に相手の話を聞くということはすばらしいと思いました。日本でもこのような場面があればよいと思います。

## 世界で得た一生の出会い

4日目には障害者施設を訪れ、子供たちと遊んだり歌ったりしました。ドラえもんが流れていました(余談ですが、日本のアニメや漫画、ドラマはいろいろな国で楽しんでいることをAPPSで痛感しました)。その後は観光で、インドのお寺や中国のお寺、マレーシアの歴史を物語る大砲や城壁を見まわりました。

そして最後の夜は「Gala Night」です。参加者はドレスアップし、海に見えるクラブハウスへ。5日間過ごした仲間と写真を撮ったり連絡先を交換したり、踊ったりして、APPSの成功を祝いました。APPSで出会えた友達と別れるときは本当に悲しかったです。

APPSを通して、私は、どの国の薬学生もみな、よい意味であまり変わらず、すぐに友達になれるし、世界って意外と1つなのだ!と思いました。この感覚は現地に行ってみて、初めて分かるものだと思います。来年のAPPSは韓国で開催されます。ぜひ、来年は多くの薬学生が参加してほしいと思います。

文責:城西大学4年 奥村早生

## 【information】

9月27日 国際活動の報告会  
(城西大学)

今夏「薬学生の集い」ではAPPS以外にも交換留学、IPSFのコンgres参加など様々な国際活動を行いました。海外に興味のある方、来年こそは自分も!という方はぜひ報告会にご参加ください!世界を知ると自分も変わるかも♪

10月12日 日本薬剤師会学術大会で「学生シンポジウム」主催

テーマは「理想の薬剤師像を考えよう」。6年制における長期実習を間近に控えた今、薬剤師の役割についてもう一度学生同士で話し合ってみませんか?

薬学生の集いHP

[yakutsudo.web.fc2.com/](http://yakutsudo.web.fc2.com/)